

蕨 広報WARABI 2

2010/平成22年
わらび・700

- 平成22年2月1日発行 / 発行所・蕨市役所
- <http://www.city.warabi.saitama.jp/>
- 蕨市の面積 5.10km²
- 1月1日現在人口：72,031人 前月比 -36人
男 36,837人 女 35,194人
世帯数：35,700
人口密度：14,123人/km²



歩みつづけて50年 蕨に笑顔 輝く未来



8月と12月に響く美しい音色 建物の屋上にある長泉院梵鐘

市の文化財などを巡る「てくてく蕨」が訪れたのは、中央5丁目の長泉院。宝暦8年(1758)に作られた梵鐘は、江戸時代の名鐘の1つで、音色が美しく、蕨宿では時の鐘として親しまれました。現在、8月の「わらび原爆死没者慰霊鐘つき祭」と大晦日の年2回、その音が響きます。

目次

- 特集：リンゴ「わらび」…2
- レポートそこが知りたい…4
- 蕨いま むかし……………4
- まちの話題……………5
- 親と子のニュースの小窓…6
- わが家のアイドル…………7
- 輝いていま ひと…………8
- わらびの野鳥・虫・草……8

ほっと・エッセイ

27

国民読書年

市長 頼高 英雄

「国民読書年」ってご存じですか。一昨年、国会で決議され、2010年、つまり今年を「国民読書年」と定めたのです。私も読書は大好きです。私の好きな本の1つに司馬遼太郎さんの『竜馬がゆく』があります。国民

馬がゆく』のイメージではないでしょうか。NHK大河ドラマで『龍馬伝』がスタートし、違った角度から龍馬が描かれています。『沈まぬ太陽』の映画化や『不毛地帯』のドラマ化で話題となっている山崎豊子さんの本もよく読みまし

た。ミヒヤエル・エンデの『モモ』や『はてしな物語』なども、今も心に残っている作品です。私の話ばかりになってしまいましたが、今、市内の学校では、いろいろな形で「読書活動が進められています。市内では読み聞かせのボランティアも活発です。テレビやゲ

ムなど映像の時代ですが、「活字」は、人類が生み出した最高の文明であり、私たちの人生を豊かにする、最良のものです。今年は、大いに読書にトライしてみてはいかがでしょうか。

お便りお待ちしております

蕨市役所
秘書広報課広報広聴係

〒335-8501 蕨市中央5-14-15
TEL 433-7703 FAX 445-0586
E-mail hisho@city.warabi.saitama.jp

「広報蕨」へのご意見・ご感想のほか、身近な楽しい話題や催しなど、どんな話題でもけっこうです。お便りお待ちしております。

苗木希望者の声

私の住むまちで生まれたリンゴのことを近所のお祭りで見ました。リンゴの木ってどんなものかわからないので、お庭で観察していきたいです。みんなで上手に育てて、まちじゅうがリンゴの実で赤くなったらうれしいな。



おおやま さくらさん
錦町4丁目・7歳

長年住んでいる蔵の名前が付いたリンゴがあることを知り、ぜひ育ててみたいと思っています。実がなるまでには数年かかるそうですが、接ぎ木の方法などを学びながら、孫たちといっしょに成長を見届けていきたいです。



こばやし しんじさん
中央7丁目・68歳

まちの宝広める活動

直径7センチ前後と小ぶりで酸味の効いた味の「わらび」は、ジュースやジャム、アップルパイなどとして味わうのがいちばん。また、鉢植えで観賞用としても楽しむことができます。

錦町コミュニティ市制施行50周年記念事業実行委員会（奥田昌利会長）では、日本一早くその実を赤く染める「わらび」をまちの宝として広めていこうと、リンゴプロジェクト（大川隆一代表）を15人で結成。昨年の7月から、「埼玉県花

と緑の振興センター」で育て方を学んだり、市内各所に植えられた「わらび」を観察したりと研究を重ねています。同実行委員会では、先月28日まで「わらび」の苗木希望者を募集。たいへんご好評をいただきました。そこで、できるだけ多くのかたに実費でお配りしようと、8日から先着順で追加募集をします。（下囲み参照）ぜひご応募ください。

「わらび」次の世代へ

リンゴ「わらび」を育ててみませんか

1人1本300円（なくなり次第終了）対象＝次の①、②の両日参加できるかた ①記念講演会「わらびりんごでまちおこし」、「自宅での育て方」と接ぎ木のしかた／21日（日）午後1時～4時 講師＝埼玉県花と緑の振興センター所長 関根家松さん ②リンゴ「わらび」の接ぎ木づくり／3月14日（日）午前10時～ところ・申し込み＝8日から西公民館（☎442・4054）※①の記念講演会はどなたでも参加できます。



接ぎ木の練習に熱が入る皆さん

「わらび」を次世代へとつなぐ、第一歩を歩み始めたリンゴプロジェクト。市では、このまちの宝を皆さんに知っていただき、多くのかたに親しみ、もらうことで、緑の多い住みよいまちづくりへのきっかけにしたいと考えています。



リンゴ「わらび」の生みの親、故・吉澤正一さん（平成2年7月撮影）

研究重ねた夫の思い

リンゴの研究に情熱を燃やしていた、夫正一を突然の不幸が襲ったのは、改良を繰り返して出来たリンゴ「つゆばれ」の新品種登録を心待ちしていたときでした。平成3年11月、農業祭の準備で買い出しに行った帰り、交通事故に遭い帰らぬ人となったのです。翌日、悲しみに暮れる私たちの下に、農林水産省から一通の通知が。「つゆばれ」の新品種登録を知らせるものでした。「蔵でおいしいリンゴを作



よしざわ みよさん
吉澤 92歳
錦町2丁目

りたい」。思いを残したまま天国へ旅立っていったのです。蔵のリンゴ皆さんに

錦町に代々続く農家の12代目だった夫がリンゴの研究を始めたのは、昭和38年のことでした。家族で食べたリンゴの種を「遊び心」で庭にまいたところ、200本ほど発芽。「実はならなくとも花くらい咲くのでは」と、気に入った1本を選び育て始めました。リンゴを育てた経験のない夫でしたが、数年後、リンゴ特有の白い花が咲くように。その2年後、梅雨も終わらぬ6月末に赤い実を付けたのです。それから「リンゴのない季節に病人や子どもに新鮮なリンゴを食べさせたい」と、改良を重ね、昭和56年5月、日本一早く実を赤く染める「わらび」

が新品種登録されたのです。4月に花が咲き、6月には実を付ける「わらび」ですが、少し酸味が強いものでした。「もっ」とおいしいリンゴを」と、無農薬にこだわった夫は木の周りに砂糖や塩をまいたり、リンゴ農家を訪ね歩いて研究したりと情熱を燃やしていました。そんななか、市の名前をいただいた「わらび」を皆さんに楽しんでもらおうと、昭和57年、市と協力して、苗木250本をお配りしました。そのときのもののなんでしょう。今も西公民館や北町の通りなどで「わらび」を見ることが出来ます。夫が形見のようにして残してくれた、日本一過密な都市蔵で生まれた「わらび」。皆さんに親しんでいただき、各所で真っ赤なリンゴが顔を見せたら夫も喜ぶことでしょう。

特集：リンゴ「わらび」

リンゴ「わらび」でまちおこし

日本一早く赤い実を付けることで知られるリンゴ「わらび」。故・吉澤正一さんが20年がかりで開発した、蔵生まれのリンゴです。今月は、「わらび」の誕生や正一さんの思いを、妻みよさんに語っていただくほか、錦町コミュニティ市制施行50周年記念事業実行委員会が進めている、リンゴプロジェクトなどについてお伝えします。



4月に白い花を咲かせる「わらび」

情報ダイヤル

掲載は無料です
図秘書広報課 (☎433・7703)

〔参加しませんか〕

▶おひさまクラブ(子育てサークル)
説明会 26日 午前10時半 塚越児童館 平成18年4月2日～21年4月1日生まれの子と親 <横山・☎445・1752>

〔仲間になりませんか〕

▶県陽ジュニア新体操クラブ 火曜日 ①小学1年～3年生=午後5時 ②4年生以上=午後6時 西小学校体育館 月4,000円 小学生(女子)<畠山・☎070・5555・2726>

▶いきがい書道クラブ 第1・3土曜日 午前10時 下蔵公民館 月1,500円<山口・☎443・6181>

▶JAMBO(親子エアロビクス) 月曜日 午前10時15分 中央公民館 月2回=1,000円 月3回=1,500円<井樋・☎080・6700・4070>

▶御殿ダンス同好会(社交ダンス) 土曜日 午後7時 中央公民館 月2,500円<福田・☎431・2484>

▶ミッキーキッズ(親子体操) 水曜日 午前10時半 市民体育館 親子(未就園児)月1,500円 随時無料体験可<工藤・☎090・1793・1031>

▶蔵中東カンフークラブ(中国武術) 土曜日 午前10時 中央東小学校体育館 入会金3,000円 月3,000円 4歳以上のかたどなたでも<吉田・☎090・9812・6620>

▶南園基クラブ 火曜日 午前10時 南公民館<井上・☎442・0259>

▶楊名時(太極拳) 土曜日 午後2時半 蔵駅東口駅前ラ・セーヌビル 月4,500円 随時体験可<浦島・☎224・5915>〔ご相談ください〕

▶アルコール依存症の自助活動 月曜日 午後7時 中央公民館 お酒をやめたい人<AA浦和・☎03・5957・3506>

▶蔵断酒会(酒害相談) 2日=中央公民館 10日=南公民館 18日=旭町公民館 午後6時半<岡田・☎441・3172>

ハイチ地震被害義援金の募集

ハイチ地震被害に対する義援金を受け付けています。ご協力をお願いします。期間=9日まで 義援金箱の設置場所=市役所、各公民館、図書館、歴史民俗資料館、市立病院など 問い合わせ=庶務課<☎433・7705>



■川口保健所戸田・蔵分室の廃止／保健所の効率的な運営及び機能強化のため3月末で廃止となります

まちの話題

1月6日、福祉・児童センターでジャンボかるた大会が開かれ、小学生50人が参加。縦40センチ、横27センチのかるた46枚は同センター利用者の手作りです。「月のうさぎのフラダンス」と読み札が読まれると、我先にと取り札に飛びつく子どもたち。正月遊びを存分に楽しみました。

交通安全対策に市民の声を生かそうと、1月8日、道路現場診断が行われました。蔵警察署のご協力の下、交通安全母の会(小林那智子会長)の皆さん11人が、東・塚越小周辺道路を巡回。「標識が見づらい」「歩道の線が薄い」など、26箇所の改善事項をご指摘いただきました。

第64回成年式が1月11日、市民会館で開かれ、461人(対象703人)が出席。式典では、新成人に贈る歌「決意」で門出を祝ったほか、市制施行50周年記念で公募(30作品)した「全国成年の主眼」の最優秀作品を新成人の代表が発表。新聞社も取材に来るなど話題を集めました。

新型インフルエンザの拡大を防ごうと、蔵戸田市医師会の主催で、12月下旬に1回目、1月17日に2回目のワクチン集団接種が行われました。会場の保健センターでは1歳から5歳までの延べ271人が接種。保護者の皆さんも、「これでひと安心」といった様子でした。

総合社会福祉センターで、「新年・新成人を祝う会」が、1月22日に開かれました。同センターを利用する障害者や高齢者117人の皆さんが、「よいしょ、よいしょ」と協力し合って12キロのもちをつき、みんなで出来立てをいただきますながら、新成人5人の門出をお祝いしました。

白熱！ジャンボかるた



安全願う市民道路診断



成人式発祥の地をPR



新型インフル集団接種



新成人祝うおもちつき



ので、店の隅に設けた立ち飲みコーナーに、帰宅途中の会社員が同僚と寄っては、仕事談義に花を咲かせたりしていました。今の写真は、現在の様子です。警察前通りが駅まで開通に至らず、昭和37年に始まった区画整理によって、店は5年で移転することになりました。

所得税の申告会場は「SKIPシティ」に 国に納める所得税の申告は確定申告です。この申告が必要な人は、給与を2か所以上から受けている人や公的年金から所得税を引くと残額がある人、個人事業主などです。また、医療費控除や住宅ローン控除など、所得税の還付を受けた人も確定申告が必要です。

皆さんが住んでいる地域のために負担していただく税金が市・県民税(住民税)で、次に該当する人は申告が必要です。今年の1月1日現在で、 ①蔵市にお住まいの人 ②市内に事務所、事業所、家屋敷をお持ちで、住所が市外の人 また、申告書の提出義務のない、税法上で同居の親族の扶養となつている人にも申告をお願いする場合があります。これ

図1 確定申告受付会場と日程

日程=2月12日～3月15日
※土・日曜日は休み
(2月21日・28日は受け付け可)
時間=午前9時～午後4時

蔵駅 産業道路 国道122号線 川口総合高校

図2 市・県民税申告受付会場と日程

自治会館=2月16日～3月15日
時間=午前9時～午後4時
※土・日曜日は休み
(2月21日・28日は受け付け可)

日	会場	時間
2月24日・25日	東公民館	午前9時～午後4時
3月2日	下蔵公民館	午前9時～正午
3月3日	南公民館	午前9時～午後4時

市役所 市民会館 駅前通り 長泉院 自治会館(中央5-13-2) 中山道本町通り

住宅ローン控除額(平成11年・18年及び21年中に入居)が所得税から全額引きされない人は、住民税からの控除が受けられることになっていますが、今年から「市・県民税住宅借入金等特別税額控除申告書」の提出が必要となりました。詳しくは税務課市税係(☎433・7707)へお問い合わせください。

申告は期限内に

レポート そこが知りたい

〈67〉



税の申告は16日～3月15日に 所得税の申告はSKIPシティで

今月16日から、税金の申告受付が始まります。市は、皆さんに納めていただく貴重な税金でまちづくりを進めています。そこで今月は、申告についてお伝えします。

会場は、今年から左下図1とおり、川口市のSKIPシティ(川口市上青木3-12-63)に変わりますので、ご注意ください。お問い合わせは西川口税務署(☎253・4860)となります。

は、介護保険や国民健康保険、就園奨励費などの行政サービスを受けるときに必要となるからです。一方、申告の必要がない人は、次のとおりです。 ①確定申告をした人 ②給与収入のみの人 ③公的年金のみの人 ④は、支払報告書が

支払者から提出済みの場合のみ。更には所得控除の追加がない人です。市・県民税の申告会場は、自治会館(図2)のほか、出張申告会場の東・下蔵・南公民館でも行います。自治会館では混雑が予想されますので、お早めにお出かけください。

税の申告をする際に必要な書類の確認を 申告に必要な物は、次の書類や証明書です。 ㊦平成21年中の収入及び所得を証明できる物(源泉徴収票、給与明細書など) ①税金の控除対象となる物の証明書(国民健康保険税や後期高齢者医療保険料、国民年金保険料、生命保険料など) ㊦①がお手元でない場合は、勤務先や年金事務所、各種保険会社などにお問い合わせください。医療費控除を受けようとする人は、領収書の提出のほか、合計額の集計が必要です。

語る人

しばたけお 柴田武男さん 中央1丁目・66歳



父の代から三和町で酒屋を営んでいましたが、より人通りのある所へと、中央1丁目に移転したのは昭和35年のこと。今の警察前通りが当時、駅まで通じる予定で、店はその通り沿いに構えました。昔の写真は、開店の様子です。たくさんの方の中に歌手の三橋美智也さんの名前があります。親戚が司業をしていて縁でいただきました。年中無休、朝7時から夜10時まで、連日200人が訪れた店の客層はさまざま。主婦以外にも、昼は子どもが駄菓子を買いに来たり、夜は、当時、居酒屋がなかった時代でした。

蔵 いま むかし

中央・二・三丁目 交差点付近の酒屋

- 297 -



中学生が番組作り体験

子どもクラブ

—中ワーキングウィーク

「声拾える?」「だいたいぶ」。リポーターもカメラマンも中学生。これは社会体験事業「ワーキングウィーク」でのひとコマです。1月18日から22日まで、第一中学校の2年生180人が57の事業所で職場体験をしました。秘書広報課に来てくれた柳沢由佳さんは、蕨ケーブルビジョンに職場体験中の3人と、各地を回りその様子をレポート。小さな社会人として働く同級生たちの頼もしい姿を伝えてくれました。取材の様子は市の行政広報番組「ハローわらび」で4日まで放送。ぜひ御覧ください。

保健師、助産師による赤ちゃんと赤ちゃんの身体計測・発育や育児についての相談・お母さんの産後の相談

赤ちゃんと産まれたら出生連絡票(母子健康手帳の最後のページに付いているはがき)を送りください。※出生届提出後の担当の訪問指導員が訪問日程の調整などのご連絡をします。

とき	対象	内容
2月9日(火)または25日(木)	平成21年10月生まれの第1子の保護者	離乳食の進め方、食事作り、試食
3月10日(水)または18日(木)	平成21年11月生まれの第1子の保護者	授乳の仕方、母子健康手帳、筆記用具、託児を希望される人はバスケット、ビニール袋(おむつ持ち帰り用)、ほか必要な物

事前申し込みが必要です。

赤ちゃんと産まれたら出生連絡票(母子健康手帳の最後のページに付いているはがき)を送りください。※出生届提出後の担当の訪問指導員が訪問日程の調整などのご連絡をします。

赤ちゃんと産まれたら出生連絡票(母子健康手帳の最後のページに付いているはがき)を送りください。※出生届提出後の担当の訪問指導員が訪問日程の調整などのご連絡をします。

	と き	対象児	受付時間・ところ
4 か 月 児 健 診	2月3日(水)・4日(木)	平成21年9月生まれ	午後1時～1時45分 保健センター
	3月3日(水)・4日(木)	平成21年10月生まれ	
1歳6か月児健診	2月23日(火)・24日(水)	平成20年7月生まれ	
	3月9日(火)・10日(水)	平成20年8月生まれ	
3 歳 児 健 診	2月5日(金)・19日(金)	平成19年1月生まれ	午後1時15分～2時 保健センター
	3月5日(金)・12日(金)	平成19年2月生まれ	
4歳6か月児健診	2月16日(火)	平成17年7月生まれ	
	3月16日(火)	平成17年8月生まれ	
1 歳 児 相 談	2月3日(水)・4日(木)	平成21年1月生まれ	午前10時～10時半 保健センター
	3月3日(水)・4日(木)	平成21年2月生まれ	

赤ちゃんと産まれたら出生連絡票(母子健康手帳の最後のページに付いているはがき)を送りください。※出生届提出後の担当の訪問指導員が訪問日程の調整などのご連絡をします。

赤ちゃんと産まれたら出生連絡票(母子健康手帳の最後のページに付いているはがき)を送りください。※出生届提出後の担当の訪問指導員が訪問日程の調整などのご連絡をします。

とき	内容
2月8日(月)	妊婦 産科 健診・保健
3月15日(月)	食生活・赤ちゃんの育て方
3月20日(土)	お産の経過・沐浴実習

両親学級

来庁時に親子で安心 ご利用ください ベビーカー

「市役所にベビーカーが置いてあったら助かるな」。自転車に乗り、小さなお子さんと来庁される皆さんからご要望のあった、ベビーカーの設置が、蕨ロータリークラブと蕨ライオンズクラブのご好意によって実現できました。ぜひ、ご活用ください。

親と子の ニュースの 小窓



窓口での手続きもスムーズ

お母さん ワラビ、お母さんが児童手当の手続きをしている間、この子を見ていてくれない? ワラビ いいよ。僕もお兄ちゃんになったんだから、なんでも手伝うよ。職員 それでしたら、正面玄関入り口に設置してある貸し出し用のベビーカーをご利用になつてはいかがでしょう。お母さん それはとても助かります。ワラビ 僕、取ってくる。お母さん 市役所に車いすがあることは知っていましたが、ベビーカーも助かります。温かなまち蕨をつくる支え合いの心

ワラビ おまたせ。お母さん A型のベビーカーね。ワラビ A型って? お母さん 首の据わっていない赤ちゃんから幼児まで使えるのよ。ワラビ それなら安心だね。そう、お母さん。聞いて聞いて。お母さん なあに?

以前からありましたか? 職員 いいえ。昨年11月に「蕨ロータリークラブ」(中村泰司会長)と「蕨ライオンズクラブ」(鹿男一郎会長)から2台寄贈していただいたんです。お母さん そうでしたか。職員 はい。「蕨ロータリークラブ」の皆さんには、日ごろから防犯パトロールで地域の安全を見守っていただいたり、「蕨ライオンズクラブ」の皆さんには、以前にも車いすを寄贈していただいたりと、市としてはたいへん助かっているんです。

ワラビ このベビーカーを借りようと思ったら、「ライオンとかロータリー」っていうお名前が書いてあったから、最初は外人さんのベビーカーだと勘違いしちゃった。お母さん ワラビらしい。ワラビ そうしたら、ちやうど市長さんが来て、借りられるベビーカーだ



つて教えてくれたんだよ。お母さん そうだったの。ワラビ うん。お話だと、小さい赤ちゃんといっしょに市役所に来る人たちから、去年「ベビーカーを置いてほしい」っていうお願いがあったんだって。お母さん 自転車でも市役所に来たとき、ベビーカーは持って来られないから、赤ちゃんを抱っこしながら手続きしないといけないものね。ワラビ うん。市長さんも、今回、市からの相談に快く応じてくれたクラブの皆さんには、感謝の気持ちでいっぱいだって。お母さん そうなの。いろんな人たちの協力があるって感じたわ。ワラビ うん。「ありがとう」だね。

写真左から、蕨ロータリークラブ幹事・香川重人さん、会長・中村泰司さん、頼高英雄市長、蕨ライオンズクラブ会長・鹿男一郎さん、幹事・戸塚智治さん

ひと 輝いています

ドラマと映画のディレクター

ながぬま まこと
長沼 誠 さん

北

北海道の大自然を舞台に、動物を通して命のたいせつさや家族のきずなを描いた映画「ウルルの森の物語」。昨年12月から全国ロードショーされたこの映画は、長沼誠さん（塚越5丁目・47歳）の監督デビュー作です。

現在、日本テレビ・ドラマ局ディレクターの長沼さんは、これまで約70本もの作品を手がけています。視聴率の取れる人として信頼も厚く、この度、映画を任されました。学生時代からのサスペンス系ドラマ好きが高じ、

熱意がつなぐ夢と感動と地域



卒業後は学んだ法学とは畑違いの業界にフリーで飛び込むことに。ただ、約5年間は、役者たちの脱いだ靴をそろえることなど、下積みが続く日々。ある日、仕事ぶりが日本テレビのディレクターの目に留まり、助監督へ抜擢。その後、自分の作品が撮れるディレクターになるまで、更に約15年の歳月が流れました。「1つ1つが土台づくりですから、経験に無駄はありません。たいせつなのは、夢をかなえるためには苦難にも一歩ずつ立ち向かうことです」と、自身を振り返ります。

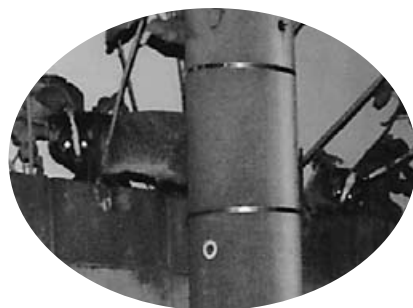
一方で、学校や地域で活躍する塚越地域の「おやじの会」に所属されています。「いろんな人たちと知り合え、まちであいさつを交わせるのがとても心地よく感じます。親としても、あの人はだれの親御さんというのも分かれますしね」と、地域の触れ合いを大事にする父親の顔ものぞかせます。人々を魅了する作品には、夢をあきらめない熱意と地域を大事にする温かな思いが詰まっています。

ぷらっと・わらび・小さな旅

千葉から届いた
うれしいお手紙

あいにくの雨模様で、千葉県から訪れた親子が「ぷらっとわらび」に乗り込んで、三学院へと向かったときの出来事です。バスはほとんど貸し切り状態。雨にぬれる町並みをぼんやりと眺めていると、「左の木はサクランボだよ。今、たくさんの実を付けているでしょう」。こうしたア

ナウンスはふだんはないはずですが、遠くから来たことを察してくれたのか、ドライバーのなにげないひと言から、楽しい旅が始まりました。気づかずに通り過ぎてしまいうな所、蔵の情景などを分かりやすく案内してくれるドライバー。まちを愛する気持ちがひしひしと伝わってきたそうです。わずか数分間の出来事とはいえ、お2人にとっては忘れられない思い出に。



わらびの野鳥・虫・草

ハクビシン

昨年12月、錦町の奥田光由さんが夕方、犬の散歩をしていたときのこと。自宅近くの路地で塀伝いを移動するハクビシンの親子に出会いました。御覧のとおり、額から鼻にかけての白い線が名

前（白鼻社）の由来です。灰褐色の体で、大きさは約50センチ、雑食性ですが、特に柑橘類が好物で、熟した果実を見つけると、夜な夜な同じ道を通って食事に出かけます。カメラを構えると、親に隠れながらも威嚇する子のハクビシン。ちよつとほえましい1枚です。

296